

# 旭川市科学館報

— 平成27年度版 —

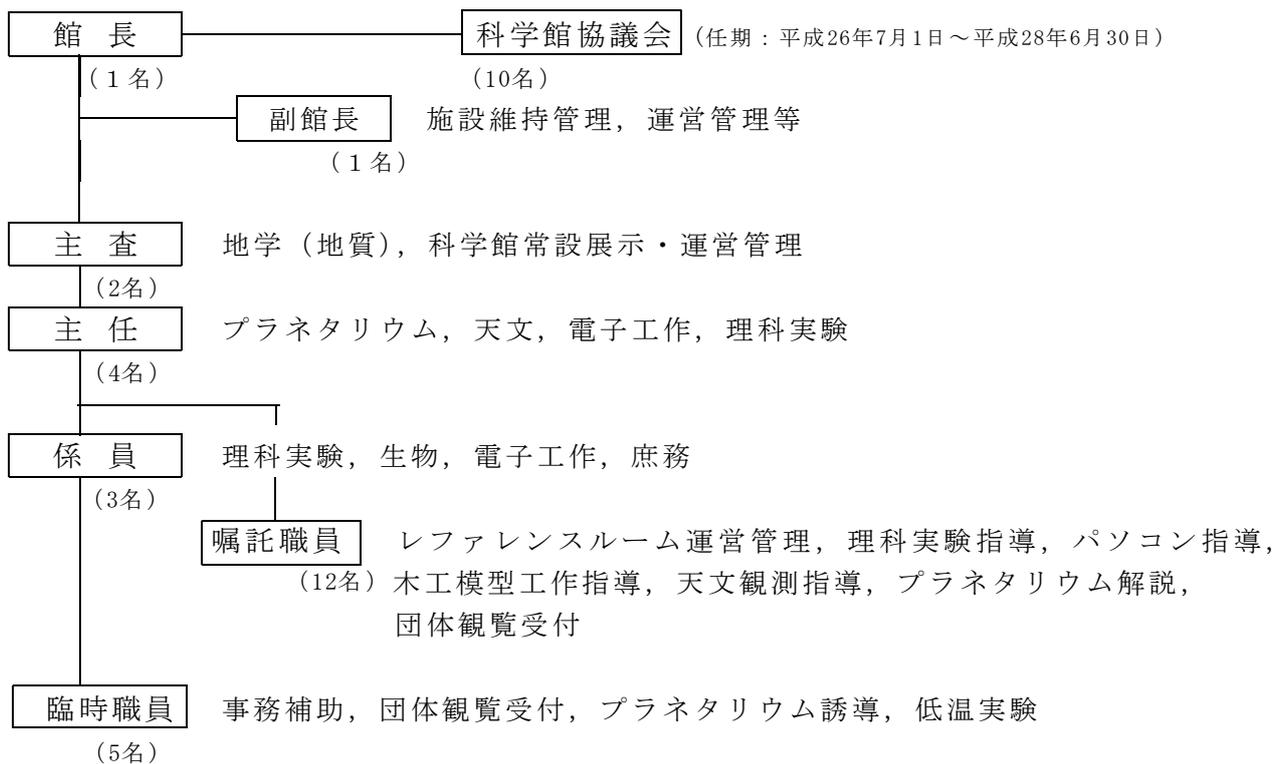
Vol. 8

平成28(2016)年

# 目 次

運営組織及び職員数	1
<b>I 旭川市科学館の概要</b>	
1 考え方	2
2 概要	2
3 沿革	2
4 施設の詳細	3
<b>II 平成27年度事業活動報告</b>	
1 利用状況	5
2 常設展示事業	6
3 特別展示事業	7
4 実験実習事業	8
5 天文普及事業	13
6 学校連携事業	18
7 共催事業	19
8 その他科学館で開催された主な催事など	19
9 情報提供活動	20
10 広報活動	20
<b>III サイエンスボランティア旭川の活動</b>	
1 概 要	21
2 平成27年度従事者数	21
3 活動の内容	21
<b>IV 旭川市科学館利用案内</b>	
1 観 覧 料	24
2 開館日等	25

## 運営組織及び職員数（平成28年4月1日現在）



科学館職員 計28名

# I 旭川市科学館の概要

## 1 考え方

旭川市科学館「サイパル」は、子供たちをはじめ多くの方々に科学に関する様々な情報を伝え、科学への関心、理解を深めることを目的としています。

今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要とされており、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められています。その中で旭川市科学館では、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とする多彩な活動を進めています。

## 2 概要

サイパルは「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置しています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間も設けられており、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれたのびのびとした空間で自然科学を学ぶことができることが大きな特徴です。

また、多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子どもから高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館に生まれ変わりました。科学の不思議さを表現したシンボル展示、「国際家具デザインフェア旭川」コンペティション入選作品など美しい地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

## 3 沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転、開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成
平成26年11月9日	入館者300万人を達成
平成27年7月23日	新館開館10周年



旭川市科学館外観

## 4 施設の詳細

### (1) 旭川市科学館

- ・所在地 旭川市宮前1条3丁目3番32号
- ・敷地面積 27,099.65㎡
- ・延床面積 5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
  - 〔内訳〕 ○常設・特別展示室，サイエンスシアター 約1,780㎡
  - プラネタリウム 約 375㎡
  - 天文台 約 90㎡
  - 実験実習室ほか 約 655㎡
  - 共用・管理運営関係 約2,900㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

### (2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，情報コーナー，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
3階	機械室など	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円形広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

### (3) 常設展示室詳細

#### Ⅱ 平成27年度事業活動報告を参照

(4)天文台詳細

- ・位 置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・面 積：173㎡(うち大天文台50㎡，小天文台19㎡，準備室20㎡，その他84㎡)
- ・大天文台：ドーム直径8m，口径65cm カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡2基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・小天文台：ドーム直径5m，口径20cm 屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置，太陽投影板・太陽用H $\alpha$  フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

(5)プラネタリウム詳細

- ・面 積：670㎡(客室232㎡，プロジェクションギャラリー112㎡，ロビー228㎡，その他98㎡)
- ・ドーム：直径18m，水平型・平面床，170席（うち2人掛け椅子5脚，通常時同心円配列・映像投影一部回転式）
- ・投影機：カール・ツァイス社製スターマスターZMP（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），全天周ドーム映像装置など付設
- ・特 徴：生解説によるマニュアル投影，我が国初(導入当時)のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機及び，全国で初めて回転可動式座席を導入。



天 文 台



大型望遠鏡



プラネタリウム

## Ⅱ 平成27年度事業活動報告

### 1 利用状況

内訳 月	常設 展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者		その他	平成27年度 合計	成26年度
					(うち特別展分)			
4	8,749	4,087	1,469	3,567	————	196	18,068	18,962
5	11,388	5,332	1,928	6,458	————	108	25,214	26,784
6	6,728	2,562	1,028	1,605	————	241	12,164	17,861
7	15,095	6,378	2,061	8,253	(6,449)	19	31,806	25,012
8	24,177	9,373	3,019	19,630	(18,130)	20	56,219	42,287
9	13,398	5,858	1,705	8,559	(9,275)	113	29,633	20,234
10	7,236	4,047	749	2,215	————	975	15,222	15,016
11	8,680	3,542	1,012	4,815	————	1,734	19,783	23,853
12	3,227	1,823	265	1,497	————	187	6,999	5,857
1	4,702	2,068	459	4,381	————	1,443	13,053	15,468
2	2,994	1,410	335	1,205	————	385	6,329	7,434
3	6,950	3,011	1,133	2,355	————	200	13,649	13,658
合計	113,324	49,491	15,163	64,540	(33,854)	5,621	248,139	232,426

※平成27年度の1日平均入館者数：775.4人／日（開館日：320日）

※6月23日～6月29日まで機器整備のためプラネタリウム休止

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成17年度～平成26年度：延べ人数）

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備考
H17	220,713	107,732	70,108	40,925	439,478	新館開館（7月23日）
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,523	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6月～9月無休開館実施
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	
H24	115,940	60,930	13,959	63,726	254,555	
H25	120,877	62,656	16,667	61,166	261,366	
H26	110,264	54,242	13,420	54,500	232,426	

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



常設展示室

## 2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型，キッズコーナー，科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー	展 示 名	
北国	北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球	身体ズームイン／内臓パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風をおこそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影で遊ぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう！／人類の進化／地球環境問題クイズ／燃料電池のしくみ／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙	ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国 雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球 巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙 宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国 石狩川夢の旅人
		地球 謎の深海底
		宇宙 テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成27年4月～平成28年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体 (団体料金適用者)					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	3,610	46	4,540	302	8,498	20	0	121	110	251	8,749
5	4,910	88	4,632	345	9,975	83	23	1,041	266	1,413	11,388
6	1,970	40	2,009	214	4,233	43	105	1,866	481	2,495	6,728
7	4,562	81	5,509	485	10,637	215	5	3,290	948	4,458	1,5095
8	10,068	181	10,875	861	21,985	220	2	1,318	652	2,192	24,177
9	4,893	83	4,907	427	10,310	159	1	2,159	769	3,088	13,398
10	2,684	43	2,703	215	5,645	141	129	830	491	1,591	7,236
11	3,719	19	4,001	181	7,920	117	9	455	179	760	8,680
12	1,254	43	1,209	108	2,614	17	0	520	76	613	3,227
1	1,860	28	2,000	209	4,097	68	32	435	70	605	4,702
2	1,464	45	1,153	100	2,762	0	31	112	89	232	2,994
3	3,099	113	3,185	284	6,681	0	0	135	134	269	6,950
年度合計	44,093	810	46,723	3,731	95,357	1083	337	12,282	4265	17,967	113,324

※「その他」は観覧料免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

### 3 特別展示事業

(1)特別展「恐竜の世界～史上最強の対決！ティランノサウルスVSトリケラトプス～」

#### ア 展示

実施期間	平成27年7月18日～9月23日（開催期間68日間）
観覧者数	33,854人（オープニングセレモニー参加者含）
内 容	恐竜王とも称されるティランノサウルスにスポットを当て、ティランノサウルスを中心とした恐竜の起源とその進化について、生態展示や骨格標本の観察、体験コーナーを通じて、最新の研究と情報を展開する特別企画展

#### イ 関連事業

内 容	対 象	参加者数	開催日
飛び出す3D恐竜	どなたでも	10,304人	7月18日～8月18日
恐竜ワークショップ		14,200人	7月18日～9月23日
化石採集会		33人	7月26日
恐竜博士のトークライブ		83人	7月30日
サイエンスショー「恐竜人間と科学で対決」		236人	9月20日～9月21日
恐竜ロボットの製作	小学4年～中学生	18人	7月28日, 29日
羽ばたく恐竜モビルの製作		15人	7月1日, 2日



特別展「恐竜の世界」



関連事業（ワークショップ）

#### 4 実験実習事業（主なものを掲載）

##### (1) 体験教室・講座

##### ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	90人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	103人	5月～9月 (各10回)
	理科(日)			20人	103人	
	科学工作(木)	メロディ時計の製作		16人	139人	
	科学工作(土)			16人	143人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	142人	
実験工作	理科実験と木工	小学6年～ 中学生		20人	126人	
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	80人	11月～翌3 月(5回)
	理科(日)	10テーマの実験や観察	5年生	20人	88人	11月～翌2 月(各10回)
	科学工作(木)			木製ラジオの製作	16人	
	科学工作(土)	16人			123人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	140人	
	実験工作	理科実験と電子工作		小学6年～ 中学生	20人	
生き物・地球	生き物や岩石の観察など	小学5年～ 中学生		10人	164人	

##### イ 親と子の実験室（前・後期）

	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (前期全5回、後期全6回)	小学2～3	40組	364人	5月～7月
後		年生の親子	40組	388人	11月～翌2月

##### ウ 旭川少年少女発明クラブ

	内 容	対 象	登録数	延べ人数	開催日
	アイデア工作, 基礎工作, 科学の夢絵 画の制作など	小学3年～ 中学生	20人	370人	6月～翌3 月(21回)

##### エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	岡田弘名誉館長サイエンス・ツアー 「火砕流堆積物の露頭観察及び防災施設の見学」	31人	8月1日
2	「自然災害とどう向き合うか」 講師：岡田 弘名誉館長(北海道大学名誉教授)	7人	8月2日
3	「私たちと遺伝情報」 講師：森澤 正昭顧問(東京大学名誉教授)	13人	11月1日
4	「親子で縄文人に学ぶ歯と顎の健康」 講師：馬場 悠男顧問(国立科学博物館名誉研究院)	14人	11月14日
5	「新しい太陽系－冥王星の姿から－」 講師：渡部 潤一顧問(国立天文台副台長)	105人	11月29日

オ こども科学博士

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	あま〜いおかしのひみつ	小学1～2年生の 親子	15組	10人	7月26日
2	光の工作		10組	6人	10月25日
3	色つき炎のキャンドル作り		15組	28人	1月17日
4	うどんを作ろう		10組	18人	3月6日

カ 理科実験マスター教室

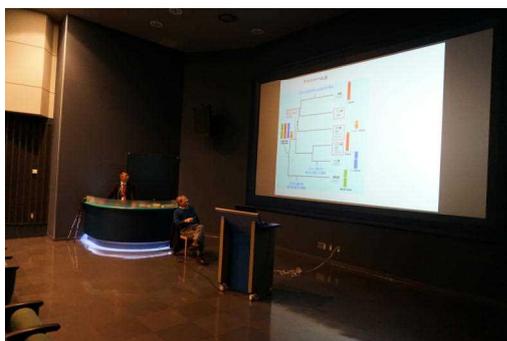
回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	成長する科学	小学6年～中学生	10人	0人	8月9日
2	カラフル化学と青銅鏡作り		10人	6人	1月8日

キ パソコン基礎講座

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	たのしくパソコン～パソコンの	高齢者	10人	86人	5月～7月
2	使い方を習得し、生活に利用し		10人	92人	9月～11月
3	よう。(各全10回)		10人	91人	1月～3月
4	特別講座「Word編」(全3回)		10人	30人	11月19日 ～21日
5	特別講座「Excel編」(全3回)		10人	29人	3月24日 ～26日

ク 地学体験学習

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	大人のための宝石みがき (1回目)	大人	10人	10人	4月25日
2	大人のための宝石みがき (2回目)		10人	10人	6月13日
3	有孔虫の化石を取りだそう！	小・中学生	10人	10人	1月8日



サイエンスセミナー



たのしくパソコン

## (2)ものづくり教室

## ア 市民木工教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	ティッシュケースの製作 (午前の部・午後の部)	大人	各16人	11人	5月3日
2	羽ばたく鳥のモビールの製作		16人	15人	6月7日
3	バターナイフの製作		10人	8人	8月12日
4	竹ひご動力車の製作		各16人	11人	9月12日 ～13日
5	掘って作るお皿の製作 (午前の部・午後の部)		各12人	23人	10月3日 ～4日
6	LED行灯の製作		各10人	13人	11月7日 ～8日
7	長椅子の製作		16人	32人	2月27日 ～28日

## イ 親子で作る木の工作室

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	竹ひご動力カーの製作	小学3・4年生と 保護者	各10組	20人	8月8日
2	(各日午前, 午後開催)		各10組	28人	8月9日
3	飛行機オブジェの製作		各10組	22人	12月26日
4	(各日午前, 午後開催)		各10組	22人	12月27日

## ウ デジタル工房

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	プログラミング・カーの製作	小学4年～中学生	10人	6人	7月31日
2	スクローラーの製作		10人	7人	8月6日
3	センサー付きLEDライトの製作		10人	7人	12月25日
4	メロディ付きアラーム時計の製作		10人	10人	1月13日

## エ 夏休み・冬休み自由工房

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	ヤジロベエ作り (午前の部・午後の部)	小学4年～中学生	各10人	7人	7月30日
2	フグ型ロボットの製作		10人	9人	8月1日
3	木製コースター作り		10人	8人	8月14日
4	オリジナルカレンダー作り		12人	12人	1月7日
5	4WD燃料電池カーの製作		10人	10人	1月7日
6	ミニシェルフ作り (午前の部・午後の部)		各10人	19人	1月7日

オ 大人のための電子工作

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	マルチ充電パックの製作	大人	10人	7人	5月24日
2	ウッディーラジオの製作		10人	5人	7月12日
3	エレキな木琴の製作(夜間開催)		10人	7人	8月15日
4	電磁気学的振り子の製作		10人	5人	9月20日
5	和の灯りの製作		10人	9人	11月22日
6	メロディー作曲クロックの製作		10人	6人	1月17日
7	停電保安ライトの製作		10人	9人	3月13日

カ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	ペットボトルソーラーカーの製作	小学4年～中学生	10人	4人	5月5日
2	ダイナモLEDライトの製作		10人	10人	7月27日
3	光センサーカーの製作		10人	10人	8月4日
4	スペースロボットの製作		10人	9人	8月11日
5	AM/FMラジオの製作		10人	9人	12月23日
6	LEDライトの製作		10人	9人	1月6日
7	ライントレースロボットの製作		10人	10人	1月11日

キ 春・夏・冬休みかんたん実験工作室

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	ガラス玉顕微鏡を作ろう (2回実施)	小・中学生 (小3以下は 保護者同伴)	各20人	26人	8月10日
2	バフバフホバークラフトを作ろう (2回実施)		各20人	16人	12月27日
3	カード型乾電池チェッカーを作ろう		各20人	3人	3月26日

ク 糸のこ体験工作

内 容	対 象	参加者数	開催日
木のキーホルダー作り	どなたでも	104人	1月28日 ～3月24日

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	20人	11人	5月17日
2			20人	8人	6月7日
3			20人	7人	2月14日
1	子連れお散歩自然観察会	未就学児童と保護者	20人	2人	6月4日
2			20人	3人	9月10日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	探鳥会	小学生以上	30人	16人	5月10日
2	昆虫標本をつくろう	小学4年～中学生	20人	2人	8月2日
3	サケ遡上見学ツアー	小学生以上	40人	38人	10月25日

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象としたサイエンスショーを開催。

内 容	対 象	参加者数	開催日
音の実験など12テーマ（全42回）	どなたでも	3,313人	毎週土曜日

イ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催。	どなたでも	6,425人	4月29日
秋			8,889人	11月3日

ウ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
GWサイエンススタジオ 「シャボン玉パーク」	どなたでも	5,133人	5月3日～6日
ナイトサイエンス 「夜の実験タイム」		51人	8月15日, 16日
科学おもちゃ大集合！		911人	11月22日, 23日
コロッ・クルのクリスマス		15人	12月23日
立春のサイエンススタジオ		329人	2月11日
電子おもちゃ&科学遊び大集合！		1,544人	3月20日, 21日

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生140人，中学生77人）	217人	8月20日 ～9月19日 （募集期間）
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川旭川創意工夫教育研究会，旭川発明協会との共催）	40人	7月30日 ～9月18日 （募集期間）
合同展示会・表彰式（表彰式は12日のみ）	1,055人	10月8日～12日

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生24人,中学生0人），絵画（小学生4人, 中学生41人）	69人	7月～9月30日

ウ 科学技術映像作品上映会

内 容	対 象	参加者数	開催日
Sex Change オキナワベニハゼの社会 と性転換	どなたでも	9人	6月14日
新宿に生きた縄文人 市谷加賀町二丁 目遺跡の発掘		9人	6月21日

## 5 天文普及事業

(1)天文台事業

ア 天文台公開

期 間 等	平成27年4月～平成28年3月 (319日間開放)
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内 容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径8メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレ式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径5メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前9時30分～午後5時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ 天体を見る会

期 間 等	平成27年4月～平成28年3月 (計20回実施)
参加者数	計1,066人
内 容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	4月～9月：午後7時30分～午後9時 10月～3月：午後7時～午後8時30分 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

ウ 星の教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する(全6回)	どなたでも	142人	主に奇数月の 最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	親子で望遠鏡の使い方と観測方	小中学生と保護者	10人	6月22日
2	法を学ぶ		14人	9月26日

オ 夏・冬休み天文教室

	内 容	対 象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡の製作とプラネタリウム	小学4年～中学生	8人	8月3日
冬	ウム, 天文台, 常設展示室見学		10人	12月27日

カ 移動観測会

	内 容	対 象	参加者数	開催日
	キャンドルナイト観測会	どなたでも	40人	6月21日
	江丹別若者の里「親子天体観測会」	小学生以上の親子	37人	2月20日

キ 天体観測

	内 容	回数	期 間
	太陽黒点の観測	188回	4月～3月
	皆既月食の観測	1回	4月4日
	部分日食の観測	1回	3月9日

(2)プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個 人					団 体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	1,850	50	1,732	185	3,817	20	0	112	138	270	4,087
5	2,438	49	1,872	158	4,517	22	23	627	143	815	5,332
6	779	28	521	80	1,408	74	0	830	250	1,154	2,562
7	1,966	61	1,883	247	4,157	137	2	1,617	465	2,221	6,378
8	3,909	90	3,697	445	8,141	128	1	804	299	1,232	9,373
9	2,112	59	1,729	214	4,114	104	1	1,321	318	1,744	5,858
10	1,549	51	1,204	155	2,959	24	112	731	221	1,088	4,047
11	1,609	24	1,316	112	3,061	72	0	301	108	481	3,542
12	751	44	457	98	1,350	17	0	399	57	473	1,823
1	893	71	711	122	1,797	11	1	227	32	271	2,068
2	755	48	427	51	1,281	0	0	71	58	129	1,410
3	1,458	86	1,156	184	2,884	0	0	77	50	127	3,011
年度計	20,069	661	16,705	2,051	39,486	609	140	7,117	2,139	10,005	49,491

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

※6月23日～6月29日まで機器整備のためプラネタリウム休止

◎プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	13	23	32	68	47	60	36	22	15	10	8	11	345

ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
春の星空動物園	(3月)～4月	動物星座	70回
太陽系のなかまたち	5月～6月	見頃の惑星	144回
隕石ってなんだろう？	7月～8月	隕石の正体	180回
月といろいろな衛星	9月～10月	月といろいろな衛星	149回
クリスマスの輝き	11月～12月	ベツレヘムの星	115回
冬の巨人オリオン	1月～2月	冬の星座、オリオン座	119回
北の親子星	3月～(4月)	おおぐま座、こぐま座	66回
番組数	7番組	投影回数合計	843回

※ ( ) 内の月は別年度のため、投影回数には含まない。

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	3	2,042人	70回
5	15	2,657人	81回
6	12	968人	63回
7	17	2,154人	87回
8	20	3,727人	93回
9	13	2,134人	77回
10	9	1,602人	72回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	4	1,772人	55回
12	0	710人	60回
1	3	1,091人	65回
2	1	687人	54回
3	5	1,618人	66回
合計	102	21,162人	843回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽（太陽の1日の動きと影の出来方）	30分	1回
小学4年生	月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	30～40分	19回
小学6年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40分	17回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50分	2回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）	40～50分	2回

(学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）						団体数					
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1
6	0	78	88	0	0	166	0	1	3	0	0	4
7	0	0	326	44	20	390	0	0	8	1	1	10
8	17	164	0	0	0	181	1	3	0	0	0	4
9	0	550	564	20	0	1,134	0	12	12	1	0	25
10	0	220	36	0	28	284	0	5	1	0	1	7
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	6	19	0	0	25	0	1	2	0	0	3
1	0	0	17	0	0	17	0	0	1	0	0	1
2	0	15	0	0	0	15	0	1	0	0	0	1
3	0	12	0	0	0	12	0	1	0	0	0	1
合計	17	1,045	1,052	64	48	2,226	1	24	28	2	2	57

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を製作・投影している。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4月1日～4月29日	冬から春の星座紹介、おおいぬ座、こいぬ座
夜空の動物園	5月1日～6月29日	春の星座紹介、動物星座
夏のほしとたなばた	7月1日～8月31日	夏の星座紹介、七夕伝説
かぐやひめ	9月1日～10月31日	秋の星座紹介、かぐやひめのお話
クリスマスの空	11月1日～12月25日	冬の星座紹介、クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12月26日～2月28日	冬の星座紹介、エリダヌス座のお話
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介、おおいぬ座、こいぬ座

(幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	6	1,420人	29回
5	5	2,023人	34回
6	4	565人	20回
7	35	3,000人	44回
8	18	4,145人	53回
9	19	1,932人	31回
10	14	1,458人	32回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	12	1,109人	24回
12	10	521人	22回
1	5	559人	23回
2	5	437人	19回
3	4	790人	24回
合計	137	17,959人	355回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影日
夏の星空コンサート 「～ラテン音楽と星空の夕べ～」	季節の星座解説とラテン音楽を紹介する生演奏コンサート	160人	8月15日
秋の星空CDコンサート 「ふしぎなあいことば～トリック オア トリート!～」	ハロウィンをテーマに音楽と季節の星座を紹介するCDコンサート	146人	10月10日
クリスマス星空CDコンサート 「ノエル・ド・サイバル～クリスマスの星と音楽～」	クリスマスをテーマに音楽と季節の星座を紹介するCDコンサート	138人	12月12日
春の星空コンサート 「The Four Seasons～春・夏・秋・冬の星座たちをめぐる～」	音楽と季節の星座を紹介する生演奏コンサート	93人	3月5日

○ドームシアター 実施期間：通年

デジタル映像投影装置を利用し、全天周映像を上映する。

(番組利用状況)

投影回数：314回

番組タイトル	内 容	観覧者数	団体数
ETERNAL RETURN —いのちを継ぐもの—	全天周デジタル映像，オート番組，宇宙の中で生まれるいのちの物語	7,233人	45



星の教室



プラネタリウム特別投影

## 6 学校連携事業

### (1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工作や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	延べ37団体（利用者数：1,414人）
テーマ	サイエンスショー・・・「炎と爆発の実験」など 実験工作・・・「プラ板キーホルダー」など 電子工作・・・「電子テスターの製作」など 木工作・・・「木工カー作り」 その他・・・低温実験室体験など

### (2) 巡回実験教室事業

#### ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教室などを行う。

期 間	通年
利用団体数	延べ18団体（利用者数：428人）
テーマ	サイエンスショー・・・「燃焼の実験」など 実験工作・・・「酸とアルカリの実験」など

#### イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

（参加者数は全てプラネタリウム観覧者数に含む）

利用学校名	参加者数	開催日
朝日小学校4年生	34人	10月9日
西神楽中学校3年生	18人	11月17日
神楽中学校3年生	138人	12月22日
西神楽中学校3年生	18人	1月26日

#### ウ 総合学習関連事業

小・中学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
旭川市立広陵中学校	総合的な学習の時間に講師を派遣	33人	1月27日

### (3) 人材育成事業

#### ア 博物館実習の受入れ

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しています。

#### (ア) 実習期間

平成27年8月20日(木)から8月26日(水)まで（7日間）

#### (イ) 実習生（学校別人数）

合計 5人

北海道教育大学旭川校	2人	札幌学院大学	1人
宮城学院女子大学	1人	東京農業大学	1人

イ サイパル理科研修会

回	内 容	対 象	延べ人数	開催日
1	おもしろ実験3種	教員	6人	6月27日
2	酸とアルカリの実験		1人	10月24日
3	化学領域の実験と指導のポイント		8人	1月13日

## 7 共催事業

(1)みどりの回廊展(共催：あさひかわ自然共生ネットワーク)

内 容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	408人	6月27日, 28日

(2)親子ミニマイコンカー教室(共催：旭川工業高等学校)

内 容	延べ人数	開催日
親子でミニマイコンカー製作と競技会	16人	10月17日, 18日

(3)お天気ひろば(共催：旭川地方气象台)

内 容	参加者数	開催日
気象や防災に関するさまざまな実験・展示等を開催	1,600人	11月3日

(4)科学探検ひろば2016(共催：サイエンスボランティア旭川)

内 容	参加者数	開催日
小中学校・高校・大学等の理科の先生や科学クラブの学生等がボランティアで参加し、来館した子供たちが参加・体験できる面白い実験や工作を屋台式のブースを設けて実施	3,226人	1月9日, 10日

## 8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	延べ人数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(31回実施)	242人	4月～翌3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	857人	10月24日, 25日
日専連版画コンクール	日専連旭川	909人	1月23日, 24日
健康日本21	旭川薬剤師会	186人	2月28日

## 9 情報提供活動

### (1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD・CD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他

（備品・資料・家具類などは一部を除き（社）旭川自動車学園からの寄贈による）

### (2) 情報コーナーの運営

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末2台、インターネット検索可能

### (3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果など。

## 10 広報活動

科学館の周知，事業内容のPRと利用の促進を図るため，次の広報活動を実施した。

(1) 旭川市広報誌「あさひばし」への事業案内，利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ等報道機関その他媒体への情報提供，取材依頼。

(3) 科学館利用案内リーフレット，パンフレット等の配布。

(4) 特別展や各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校，公共施設等に配布。

(5) ホームページを通じて利用案内や事業情報等を発信。

(6) 科学館体験学習の手引きの作成。

(7) 「科学館報」，調査研究などの「研究報告」，旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行，配布。

(8) レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

### Ⅲ サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

#### 1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成27年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 154名（平成27年3月末日現在）  
〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員合計154名（うち特別学芸員82名）

〈お問合せ先〉 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番22号  
旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局  
TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310  
E-mail: kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp  
URL: <http://asascience.blog.fc2.com/>

#### 2 平成27年度従事者数

月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計	月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計
4	303人	131人	434人	10	274人	109人	383人
5	333人	138人	471人	11	256人	147人	403人
6	334人	130人	464人	12	267人	115人	382人
7	441人	149人	590人	1	233人	124人	357人
8	571人	140人	711人	2	238人	123人	361人
9	453人	129人	582人	3	283人	117人	400人
				計	3,986人	1,552人	5,538人

※半日従事の場合は0.5人として積算

#### 3 活動の内容

##### (1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明，プラネタリウム観客誘導・整理等，レファレンスルーム管理，ミュージアムショップの一部運営，他。
自主事業の企画・実施	「科学探検ひろば2016」の実施，「日曜日も科学館」開催，「青少年のための科学の祭典」の開催支援，ミュージアムショップの運営（科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品75種程度），教育大学旭川校等からの学生ボランティア29名受入。 ※科学探検ひろば2016はⅡ-7「共催事業」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。

## (2) 自主事業詳細

### ア 日曜日も科学館「ワークショップ」

簡単な科学実験や工作などのワークショップを主に小学生を対象に日曜日、館内の様々なスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
誕生星座を作ろう，ぴよんぴよんかえるを作ろう，新幹線を作ろう，クリスマスツリーをつくろうなど	2,374人	主に毎日曜日 (合計37回)

### イ 夏休み大人もこどももワークショップ

子供から大人まで楽しめる工作

内 容	参加者数	開催日
木のおもしろ工作	26人	8月3日

### ウ 冬休み大人もこどももワークショップ

子供から大人まで楽しめる工作

回	内 容	参加者数	開催日
1	木の工作	24人	12月26日
2	門松づくり	16人	12月27日
3	アイロンビーズ工作	21人	12月27日
4	段ボール工作	14人	12月27日

### エ 日曜日も科学館「糸のこ工作」

木工に興味をもってもらうため、簡単木工体験を行うワークショップを行う。

内 容	参加者数	開催日
木工に興味をもってもらうため、かんたんな木工体験を行うワークショップを行う。	376人	主に毎木曜日 (合計9回)

### オ 日曜日も科学館「博士現る！」

その日現れた「博士」が不思議で楽しい体験や実験を紹介します。

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	発光博士	どなたでも	36人	4月12日
2	種博士		39人	5月31日
3	発光博士		31人	6月14日
4	天文博士		44人	7月19日
5	静電気博士		64人	8月16日
6	数学博士		35人	8月30日
7	はっぱ博士		70人	9月13日
8	発電博士		31人	10月4日
9	色変わり博士		32人	11月1日
10	石博士		2人	12月6日
11	発電博士		36人	1月24日
12	氷博士		35人	2月13日

カ 大人の学び舎

大人を対象とした科学講座

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	多面体とは	大人	7人	7月3日
2	恐竜とは		5人	9月4日
3	宇宙とは・・・		5人	10月2日
4	雪の結晶のお話と万華鏡作り		10人	2月5日
5	沖縄とは		9人	3月4日

キ コズミックカレッジ

回	内 容	参加者数	開催日
1	ゴム動力飛行機の製作	5人	8月8日
2	モデルロケットの製作	6人	8月9日

ク サイパル工房

様々な世代の人々にもものづくりの楽しさを伝える。

回	内 容	参加者数	開催日
1	電子オルゴールの製作	32人	5月3日
2	リモコンブドーザーの製作	32人	5月4日
3	かんたん工作体験	9人	6月20日
4	かんたん工作体験	26人	8月10日
5	かんたん工作体験	36人	8月14日
6	「電子ルーレット」「くるくるコップ」「ぶるぶるカー」 「ソーラーハウス」「なかよしスイッチ」	34人	1月14日
7	「鳥かごと小鳥」「5曲電子オルゴールボックス」	7人	2月14日

ケ 低温実験室運営

内 容	参加者数	開催日
氷点下30℃になる低温実験室で、雪の結晶やダイヤモンドダストなどをつくる各種実験を行う。	3,422人	主に毎土日曜日 (合計101回)



日曜日も科学館



コズミックカレッジ

## IV 旭川市科学館利用案内（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

### 1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

博物館 常設展示室 (1日)	科学館		観覧料 (円)			
	常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
	●	●	500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は，観覧料が免除となります。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から1年間，対象施設を何度も御覧いただけます。

種 類	対 象 施 設	料 金 (円/枚)	
		大 人	高 校 生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	/

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

## 2 開館日等

### (1)開館日数

開館日は320日間、休館日は46日間（うち、保守点検休館日は8日間）

### (2)休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の日。ただし6月から9月の期間を除く。）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

7月及び8月を除く月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる。）

### (3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、12月29日、1月2日及び3月31日。

### (4)開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（観覧のための入館は午後4時30分まで）ただし、8月12日～16日は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長するほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

### (5)交通のご案内

#### バスを御利用の場合

JR旭川駅前「27番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」、または「17番のりば」から旭川電気軌道バス33番線「東光16条5丁目行」乗車「科学館前」で下車します。

#### JRを御利用の場合

JR旭川駅から徒歩25分又は、JR旭川四条駅から徒歩15分かかります。

#### 高速道路を御利用の場合

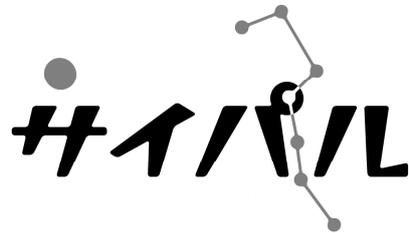
道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分又は、道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

#### 飛行機を御利用の場合

旭川空港より車又は旭川電気軌道バス空港線「宮前通東」まで約40分かかります。

### (6)周辺地図





### 旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、  
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。  
新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしてい  
ます。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込め  
られています。



### 旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では  
「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛された  
フクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。コロツ・クルは、アイヌの伝  
承に登場するコロポックルからネーミングされました。



---

平成28(2016)年

旭川市科学館報 Vol.8

平成29年3月発行

発行者 旭川市科学館

旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>

メールアドレス [kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp](mailto:kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp)

---